

中東地域情勢研究会の第2回特別講演会開催(兼第3回研究会)について

2020年12月15日

インペックスソリューションズ(SLT)と東京大学先端科学技術研究センター(RCAST)の池内恵教授の研究室による中東地域情勢研究会は、11月24日に第2回目の特別講演会(オンライン)を行い、30名の方が参加して下さいました。

7月の池内教授による特別企画講演会「2020年夏・激動の中東情勢を読み解く方法」の開催に続き、第3回研究会を兼ねて、第2回の特別講演会を開催致しました。講演会は、ロシアの軍事・安全保障を専門としてメディアにも多く出演されている、池内研究室の小泉悠特任助教にご担当頂き、「ナゴルノカラバフ紛争の軍事的・政治的側面と、ロシア・トルコの役割」と題して、9月末から11月半ばにかけて勃発した、中東に隣接する南コーカサスのアルメニアとアゼルバイジャンとの間のナゴルノカラバフ紛争について解説して頂きました。その後、池内教授との対談および参加者とのディスカッションを行いました。

INPEX 本社は、アゼルバイジャンの ACG 油田並びに BTC パイプラインの両プロジェクトに参加していますが、講演では、ナゴルノカラバフ紛争について、アルメニアとアゼルバイジャンの対立の歴史的背景から掘り起こし、今回の紛争に至る原因と経過、そしてロシアやトルコなど関係する諸国の動きや思惑、停戦合意後の地域に及ぼす影響など、一般メディアでは語られない情報をお話し頂き、大変興味深い内容でした。

中東地域情勢研究会では、INPEX のビジネスにおいて重要なエリアの一つである中東地域について、2021年も引き続いて研究会及び講演会を企画し、同地域における現代の国際関係・情勢情報収集、分析並びに研究を行ってまいります。

以上